

街中ゆったりカフェ 2022 年、2021 年の記録

【 12 】 22 年 12 月例会

日時：12 月 12 日(月)、13:00-15:30

場所：コミュニティカフェリポッケ(上市町)

参加者：7 人； gos, sek, take, to 若、hayas、bun、yam

話題：to 若氏; 木曾義仲の史跡検証

歴史的価値探求、文化行政、マスコミの文化報道
sek 氏；鷲羽池火山
gos 氏；半導体について
bun 氏；昆布の食べすぎ注意

1. to 若氏; 木曾義仲の史跡検証

平安末期の源平の頃、木曾義仲が倶利伽羅に進軍中、富山西域にて弓矢で地面に矢を射って湧水させたという伝承の場所が高岡市常国にあり、現在「弓の清水」史跡となっている。これについて歴史学や地形地質学の観点から調査を行って、学術的根拠なしの結論が下されたという。一部始終を説明。

2. sek 氏；鷲羽池火山

黒部川源流域における加算活動について、鷲羽池火山に着目。鷲羽池火山については、噴火は 12 万円前以降、最新の噴火は 2700 年の水蒸気噴火。火山灰調査で判明とのこと。

立山連峰直下には大きなマグマだまりがあり、地震に対してはバッファ域となる。このため、県外に発生地震は勢力を減じて、富山に到来となる。等の話が合った。

3. gos 氏；半導体・地球温暖化などについて

以前から半導体の歴史や現況についての話題提供。盛りだくさんの内容であったのでいくつかのモノのみ列挙。

太陽光パネルで発電するのはいいが、パネル作成のために開発途上国の地下資源を使って、途上国には大変な環境負荷を与えている。地球は寒冷期に入っている、盛んに温暖化を主張する方々はどんな根拠で主張されているのだろうか、と。極地の氷や北極熊などの様子をも取り上げられておられた。

4. bun 氏；昆布の食べすぎ注意

エベレスト登頂の佐伯山河体を壊したときに、昆布やワカメを食して全快したとのことで、昆布の効用について紹介。

中国の奥部でも昆布が健康食として重宝されていたとか、またアンデスの村々でも昆布を食べていたとか。ただし、食べすぎは健康に害となる。とのこと。

【 11 】 22 年 11 月例会

日時：11 月 30 日(水)、13:30-16:00

場所：音杉コミュニティセンタ 2 階(上市町)

参加者：shii、suzk、to(waka)、to(yuwa)、hays、fujin、
bunn、yamz 計 8 人

話題：fur 氏; 石造物文化

gos 氏；最近の天文学と量子学

1. 古川氏(富山石仏研究所、元富山市埋蔵文化財センター)

専門は歴史考古学。

- ・前回から議論のあった上市町の石仏について、
- ・富山城石造物。巨石はソリやイカダで運搬。
- ・富山前田家墓所長岡御廟の石造物
- ・立山芦峯寺・立山信仰の石造物

2. 伍嶋氏

手製アンプを含め映像セットを持参。

二つの話題について解説有。

a. ジェイムズ・ウェッブ宇宙望遠鏡; 2021 年に打ち上げられたアメリカの宇宙望遠鏡。遠く離れた銀河の鮮明な写真。ハッブル望遠鏡の写真と対比。等。

b. 量子世界; 量子は粒子性と波動性を兼ね備え、状態は波動関数で規定。等

【 10 】 22 年 10 月例会

日時：10 月 26 日水曜、13:30-15:45

場所：上市町音杉コミュニティセンター(公民館)

参加者：7 人； gos, seki, take, to 湯、to 若、hayas、bun

話題：

- ・gas；映像と音楽
- ・bun；カミオカンデ
- ・haya；斎神新
- ・sek；地質地層、他
- ・皆さん；古事記

以下に、話の主な内容を記します。

▲ 1. gos 氏；映像と音楽

・きょうのオープニングは、スピーカーの話として、手のひらサイズのスピーカーの性能を実感するために、実際に音楽鑑賞からはじめた。その後、gos さんの本拠地の山におけるキノコや花について画像鑑賞した。また、メタセコイアについての話もあった。

・ウェブサイトに zuisou という写真投稿のサイトがある。そこに、「きのことおやじ」の名前で投稿している。皆さんみてください。

▲ 2. bun 氏；カミオカンデ

・カミオカンデ；ニュートリノセンサーの入れ替え時期に現場見学にいた際に写した写真が紹介された。

▲ 3. hay 氏；斎神新

・前回カで紹介があった斎神新と田島野の窪の地藏堂は立山寺ゆかりの石仏を見に行った。斎神新という場所はあるが、斎神の場所はない。ミステリーだ。

▲ 4. sek 氏；地質地層、郷土史本

・能登の群発地震について、北日本新聞 10/25 の記事あり。珠洲市直下の数 km 深さに流体層が存在。群発地震に関係あるようだ。

・上市町稲村にて 1800 万年前頃の折戸層(火山灰層)が見つかった。場所は稲村ゴミ処理場近くで、地層はいまもみれるとのこと。

・富山県郷土史会から「越の大乱」の本が出版された。これは、荒唐無稽と言われていた江戸末期に書かれた肯構線録に基づいているとのこと。

▲ 5. 皆さん、to 若氏資料提出； 神話の背景を探る

「神話の完全なフィクションでなく、神話の背景には何かあるのでは」との前回カの話し合いに基づいて今回、古事記について語り合いがあった。

論点は、a.邪馬台国との関係で天孫降臨をとらえる、 b. 高千穂の位置の議論、

c.出雲神話の背景、 c.海彦山彦の背景、 d.国誕生で淡路島が最世の意味、

e.アマテラスオミカミ、 f.神話と考古学

である。以下に、各人の語りを中心に記す。

・国生みで、淡路島が最初に誕生とは。神武の東征のときに淡路島にわたったとかいう話があるので淡路か。隠岐の島は出雲系にも花を持たせたのか。

・高千穂は、霧島連峰にある高千穂の山か、日向から阿蘇南外輪山を源流に日向に向かう五ヶ瀬川の高千穂峡か、二説あり。後者では、北部九州の邪馬台国との関連で高千穂を位置付けれるという。

・出雲神話。国譲りは出雲を舞台に土着の出雲系統と出雲外系統との争いで後者が勝利したことを意味するようだ。

・因幡の白兔については、兄神達のいじめに耐えている弟神の大国主命が国を取めるにふさわしい優しい人であることを意味している。地元の姫神との結婚で国づくりに着手といったところ。

・海彦山彦の話では、山彦系が後の大和朝廷であり、海彦は南九州の豪族(隼人族)であり、両者の間に争乱。山彦側の勝利に終わったとの見方あり。

・アマテラスは女性。男性の説有。持統天皇の権威付けには女性神が必要だったのでは。

・日本書記では神代の記述は少ない。古事記とは別の展開。これを古事記の修正とみるのか、国家の正史として必要だったのかは意見が分かれる。

・古事記において、なぜ神話として歴史を捉えたのか。あまたの豪族を取りまとめるには現実離れした神話が最適だったのでは(神々の世界の話ならば架空の話として受け止め容易)。もちろん、天皇家の神格化のためには神話は不可欠との見方あり。

・古事記は古代の歴史と捉えることはないが、考古学が発展していった場合、古事記の検証にもなるという意見もあるが、神話は歴史ではないので、神話は神話のままということだろう。むしろ古事記は、今日、古代文学として捉えられている。

・以上のほか、渡来人や藤原不比等の存在など、広範囲にわたり話があった。

【 9 】 22 年9月例会

2022 年 9 月 28 日水曜、13:30-15:30

場所：上市町音杉コミュニティー(公民館)

参加者：5 人； gos,take、to 若、hayas、bun

話題：持ち寄り；

・ bun；黒部ダム、カミオカンデ

斎神新と田島野の窪の地藏堂、立山寺ゆかりの石仏

・ to 若；劔岳と錫杖、冒険家高橋氏講演会より

- ・gas；最新の科学技術(チバニアン、量子コンピュータ)

以下に、話の主な内容を記します。

▲1. bun 氏

・カミオカンデ；ニュートリノセンサーの入れ替え時期に
現場見学があり、巨大な地下空間を見学した。

・斎神新と田島野の窪の地藏堂は立山寺ゆかりの石仏で
す。

齊神の齊の意味は何か。議論になった。賽のさいと同じ
類にのようだ。

・他。

▲2. to 若氏

・剣岳山頂に置かれていた(奉納された)錫杖は誰が何処
から運んだのか。について、黒川から登坂した修験者と考
えられる。

・柴崎測量隊が早月尾根からとうちょうでできなかったの
は、どうも荷物(三角点石碑など)のせい。

・黒川の登頂ルート；黒川→護摩堂→番場島→立山川遡行
→ハゲマンザイ→尾根に上がる→早月尾根→頂上

・岳山と山間河川と山間地が一体となっている。

黒川域・郷・早月川・剣 大岩・千石川・白岩川・
大日岳 芦峠・岩峠・称名側・雄山

これらの3域をまとめて巨大な令嬢ゾーンを形成。

・片貝川ルートは平安期当時からあったろう。

・他。

▲3. gos 氏

・チバニアン；地球の時期が NS 反転(地磁気の反転)は、
地球コア部を構成する溶けた鉄の流動によるといわれて
いる。

・量子コンピュータ；日本でも開発。一部には実用。量子
コンピュータそのものは超小型になるが、それを冷やす装
置がかなりの大型となる。

・日本人は世界的なイノベにはかならず関わっている。日
本人が優秀という。

・スピーカーついては、通常のコーンタイプのモノの他に、
液晶パネルそのものを震わせるものも多い。最近は指向性
の強いスピーカーも出始めつつある。

・他

【 8 】 22 年8月例会

日時； 8 月 24 日(火)、13:30-15:30、

場所；音杉コミテイセンタ 1f、

内容；・三種の神器、

・各氏より小話題の持ち寄り

【 7 】 22 年7月例会

日時； 7 月 27 日(水)、13:30～15:40

場所；音杉コミュニティセンター

参加者は 5 人：gos、take、t(湯)、t(若)、haya

話題(1)東西日本の区分と民俗事情 by t(若)

話題(2)争いについて

▲1 東西日本の区分と民俗事情

- ・日本の東西二分としたときの境界線について、
- ・東西二分の民俗事情として、食品、味、言葉、等
- ・電力事情；太陽光や風力発電

▲2 争いについて

古代史では争いがどうして生じるのかといった疑問から
始まって、ウクライナ戦争の話になった。関連して本邦の
憲法の話や原書房刊「民間防衛」(スイスに学ぶ)の話へと
続いた。

【 6 】 22 年6月例会

日時； 6 月 26 日(月)、13:30～16:00

場所；音杉コミュニティセンター、1f ホール

参加者；gos、to 杉、to 湯、hay、bun 計 5 人

話題；参加者全員で話題持ち寄り

三種の神器 by matsu

【 5 】 22 年5月例会

日時； 5 月 25 日(水)13h30～16h00

場所；音杉コミュニティセンター 2 階和室

【 4 】 23 年4月例会

日時； 4 月 25 日(月)、13:30～16:00

場所；音杉コミュニティセンター、1f ホール

参加者 8 人 文山、武田、伍嶋、関谷、椎名、松井、早崎、
富樫、平井

話題；take；さくらのあれこれ

桜の新種、上市の桜、冬の桜などの話

▲桜

- ・桜のお尻（額の側）に特徴がでる。
- ・フェザーニュース 1/12 開花予想 北日本新聞に掲載
上市の天気予報もあり。
西田美術館西側に、h9、フェザーの定点カメラ有。
- ・2/4 のウエザーニュース
- ・伊折渡ったところから剣と桜が美しい
折戸地区の桜
風で倒れる（周辺の杉の木を切り倒したら風に直あたる）
→起こす →3本の大きい枝を切る
→10年ちかく健在
- ・八重さくらの花びらは 20-30 枚
きくさくらおい；100 枚 ヒヨドリ桜 300 枚
- ・五角形の花（朝顔の系統）
- ・三杉公園 神武天皇？やまとたけるの命の像
- ・東種のアメダス地点；240m 標高。富山 15 台気象観測点

▲他の話題

- ・地球温暖化の議論

温暖化は捏造という意見と温暖化ほぼ間違いないの意見。
会員の少年期；朝 24 度、朝 30 度こえるかこえないか。

今と違って涼しいおおきな木あり、草ありだったが。

夏はエアコン；25 度くらいが適正

- ・matsu；三種の神器その 2。

壇ノ浦で紛失、他に保存、等の諸説あり。

【 3 】 22 年3月例会

日時；3 月 23 日（水）13:30-15:40

出席者；gos, take, to(yuwa), to(waka), haya, bun；
6 人

話題；bun；水月湖年縞

take；献灯使

◆水月湖年縞

bun；古気象学の世界にいざないとして、福井県
三方五湖にある水月湖に着目。

・湖底の堆積層 45m に 7 万年の堆積歴史を刻んで
いる縞模様（年縞）が現存。

・世界における地質年代測定に標準ケースとして
役割あり。（炭素 14 の年代測定）

・なお、近くに断層があり、常に湖底が沈降。だ
から湖は埋まらなかった。

minna；この後、皆さんと自由語り

・日本には地層カーボンあり；地球の磁極反転の証
拠

・地球温暖化、地球の気温は何をもって測定か。
場所は、地表からの高さは、側転が偏在など。

◆献灯使について

資料有。解説付きで資料の言わんとするところが
講師の解説でやっとイメージできるほど、
よくわからない構成であり、文章となっている。
講師に概要を欠いていただくのがいいのですが、
速報の意味もあって、編者が編者のレンズごしで
記録。

・Take；5 編の小説で一冊の本。著者はドイツ
に在住の多和田葉子さん。90 年代に芥川賞受賞。

・主人公 2 人でのやり取りが主。扱う問題は格差
問題、政治問題、技術問題、鎖国、ジェンダ等多岐。

・今日的な問題が盛りだくさん。それらを時代を
超越した感覚で言葉遊びを盛り込んで展開。

・SF のようにもとれるが、将来の科学技術は登場
しないので、その意味では SF ではなく、

・現代空想フィクションとでもいうべきか。問題
の本質をシャープに捉えている。

・献灯使とは日の出前に起きて、暗闇に分け入る、
そんな自覚を持つ人からなる会のメンバーのこと。つ

・皆；この後みんなで語り合い

・鎖国はコロナ禍を予言のよう。

・組織においてクジビキ民主主義。組織内の専門
家は専門に凝り固まりすぎ。

・ならば無作為抽出で一般から代議員を選べば、
市民感覚が発揮できる。

・性転換は・・・

【 2 】 22 年2月例会

日時；2 月 23 日（水）、13:30～16:00

場所；音杉コミュニティセンター2f

参加者；6 人

【 1 】 22 年1月例会

日時；1 月 26 日（水）、13:30～16:00

場所；音杉コミュニティセンター、1f ホール

参加者；参加者 9 人、そのうち初参加は女性 2 名

1 月例会は成功裏に終わりました。例会内容のあらましは以下の通り。

▲gos さん：ニューイヤーコンサート音楽鑑賞会。
手製のアンプとスピーカーで、

1 時間ほど、クラシック、ジャズなどの音楽を楽しみました。

▲yamag さん：宮田氏の「ひとのま」活動について。1 時間半。

上市社協主催の宮田氏を招いての講演会に yamag さんが出席されました。

yamag さんからの、宮田氏の活動についてる説明がありました。特に強調されていたことは；
人の間活動とは、問題を抱えている種々の方々の居場所活動とのことであり、各地にこうした居場所ができて欲しいし、また、根源の問題を何とかしなければ、との旨、結んでおられました。

カフェ聴衆もまた福祉には関心が高く、聴衆自身の関連喝を売を交えて和やかにかつ熱く語り合いました。(通常は 1 5 時程ですが) 1 6 時までの時間延長でも興奮さめやらずのもりあがりでした。

◆21 年 12 月例会

日時：12 月 22 日(水)13 時半～15 時 (max15 時半)

場所：音杉コミュニティセンタ、2 階大広間

参加者；

▲gos さんのプレゼンで「オーディオ鑑賞会」を楽しみました。

曲目は；

・第 18 回ショパン国際コンクール二位入賞の半田恭平氏；
ファイナルピアノ協奏曲

・小澤征爾指揮ウィーンフィル；シュトラウスⅡ世・歌劇
こうもり序曲、

・パディページ(女性シンガー)のテネシーワルツ、など
最後にはリモート 100 人によるベートーベンの第九が圧巻でした。

アンコールでは、原信夫とシャープ&フラットのジャズを楽しみました。

曲の演奏前後には、オーディオ、音楽界、等音楽に関して皆さんとの語り。

なお、会場に持参されたスピーカーは自作。

▲皆さんで四方山話

・gos さんの音楽レパトリーの広さには一同びっくり。
いつごろから音楽にした試案れたのかの Q&A には、白萩東部小学校 5 年の時、講堂で SP レコード(蓄音機で再生)の音楽鑑賞会があつてから。自宅では、雪村いずみの SP レコードの音楽が最初。とのこと。

・「献灯使」の本では現代文明の批判的な話が盛りだくさん。安倍政権の頃から政治の民営化が進んでいる。などの話で盛り上がった。

・技術とコンピューターの話。1980 年代以降の日本の技術停滞期。新自由主義にしてやられた。といった話で盛り上がった。

▲◆ 1 1 月例会

日時：1 1 月 2 4 日(水曜日)13 時半～15 時 (アフタートークは 15 時半まで)

場所：音杉コミュニティセンタ、2 階大広間

話題：立山信仰のルーツ(修験者)と立山曼荼羅の絵解き

講師：関谷さん (郷土史家、自然解説員)

◆21 年 10 月例会

日時：10 月 27 日(水)13 時半～15 時 (max15 時半)

場所：音杉コミュニティセンタ、2 階大広間

題目：農業の現状を語る、改善に向けて

(編者が勝手に記、すいません)

講師：山崎宗良氏 (農業問題専門家)

今回は、話題持ち寄りではなく、山崎氏が 1 時間プレゼンし、30-60 分意見交換となります。

食の安全や種苗法改正の問題、外国企業の日本農業介入、農業犠牲の工業優先政策などに

ついて、お話しされるかと思います。日本の農業の健全化が国民を守るとして、どうすべきか

皆さんと一緒に考えましょう、ということかと存じます。

(山崎氏と編者との日ごろの語り合いから)。

▲21 年 9 月例会 中止

▲21 年 8 月例会 8/24(火) 中止

話題1：関谷さん；1時間；

題目「立山信仰と修験〜問題提起」

断片的にはこれまで何回かお話しされておられました。

今回、まとめる形で各種の部分話題も追加して

▲21年7月例会

街中ゆったりカフェ

日時：21年7月27日火曜、13:30-15:30

場所：上市町音杉コミュニティセンター

参加：11人 gos, togm, sat, sek, take, togy, haya,
hira, bun, mats, yam,

内容

▲上市から多様性を尊重した教育を；takさん；

・上市町おおかみプロジェクトに教育の充実を主張。おおかみどもの映画では、姉が人間社会に残り、弟が自然に帰っていった。どんな子供でも成長が教育を介したり、自然の野山を介したりして育っていくとのことであった。今の世の中はダイバーシティ、どんな子供でも対応できる教育を開一町が積極的に実施すべき。おおかみプロジェクトに加えてほしい。と熱弁されていた。皆さんからは、差別のない環境づくりとして教育を魅力的に充実させること、町が今進めている小学校統廃合問題にはダイバーシティの考えですべし、とか言った意見で、盛り上がった。

・Bさん、小さい時はガキ大将でみんなをたばねていた(皆さん一同に驚く)。ガキ大将論議に華が咲く。

▲おおかみ信仰；gosさん、皆さん；

おおかみについて、おおかみ神社は秩父山の御岳神社をはじめ全国各地にあり、おおかみ信仰が根付いて。理由は、生態系のバランスにはおおかみの存在も重要であったとのこと。また恐ろしいものの代表がおおかみであったことも理由の一つとのことでした。

▲坂田の金時伝説；bunさん、皆さん

文山；神奈川県に金時山があり、山頂からの富士山がとてもきれいに見えますと切り出して、金時伝説は全国各地にあり、富山にもあるとのこと。また北陸街道の親不知を通らないバイパス路として名高い上路コースにも金時伝説が残っている。

・話題が鉾山に移り、鉾区一帯の樹木を切る権利を持つ木地という人たちがいた。上市では下田金山鉾区として鉾山

のところを含め滑川海岸までの広い域が対象であった。上市では生地の方は3人おられたという。なお、BBTのお天気キャスターの木地さんの祖先(大沢の)は木地であったという。

▲立山信仰；sekさん；(かなり専門的で込み入った話となった。メモはさわりのみとした。)

木地の話から信仰の話へ地話題に移り、宗教を主にした多くの話題でトークが続いた。

・宗教論議については、なら平安仏教、鎌倉仏教、その後の仏教について、説明があった。

・立山域では、真言宗系と天台宗系の二派が入ってきて、大岩の日石寺や黒川・護摩堂は真言宗系であるという。

・峠のついた地名について、宗教にかかわりあり。富山には4か所あり。岩峠、芦峠、等。なぜか上市にはない。

・出雲神社のいわれ。古事記での描写について、話があった。

・他



<1> 2021.8月 中止になったが。

日時：8月24日(火)、13時半から15時(時間延長15時半)

場所：上市町音杉コミュニティセンター(上市駅より南へ徒歩5分)

話題：立山信仰を探る

弁士：関谷さん(郷土歴史家、ナチュラリスト)

内容：仏教や神道がどう神仏習合してきたか、弘法大師がどう関わっていたか、

総合的に俯瞰されます。

コメント：今回は立山信仰の話題一本です。